

令和元年度 消防本部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（消防本部関係分）

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性						
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬季生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。						
令和元年度の取組状況報告							
04-03 消防・救急の充実							
<p>・消防組織体制の充実では、消防職員人材育成基本計画に基づいた消防活動に必要な大型自動車免許や小型船舶操縦士免等の各種資格取得や救急隊員資格者の計画的な養成を実施しました。また、災害対応能力の向上及び指導的立場の職員養成のため消防大学の研修に職員を参加させるとともに若手職員の育成に必要な研修を実施しました。</p> <p>・消防施設等の整備では、消防指令業務共同運用に向けた調整・協議の中で、整備費のコストダウンや大規模災害等の対応力の強化に向けた検討を行うほか、消防車両・安全装備品の整備や消防庁舎の長期保全に向けた補修を行うことで安定的な運営管理を行いました。また、消防団を中核とした地域防災力の向上における新たな取組みとして、消防団が学生消防サポーターと共に地域活動に参加することで、地域との連携を強化しました。学生が地域消防組織と活動することを支援することで防火防災の担い手を育成し、将来にわたる地域防災力の向上につなげます。</p> <p>・救急体制の充実では、増加する救急需要に対応するために調査と分析を行い、救急隊の効率的な運用方法の検討をしました。これからも継続的に行うことで救急需要に対応します。また、児童・生徒を対象とした救命講習会を開催し、若年層からの応急手当と救急車適正利用の啓発を行ったほか、市民自らが指導できる応急手当普及員の育成を図るため、大学生や市民を対象とした応急手当普及員講習を実施しました。</p> <p>・火災予防対策の推進では、火災の出火防止対策である春・秋・歳末の火災予防運動等による予防広報、自治会や高齢者クラブに対する出前講座により、住民の防火意識を啓発したほか、事業所の対する立入検査等を通じ、防火管理・保安管理体制の法令順守を指導しました。また、火災による被害軽減策に有効である住宅用火災警報器の設置や適正な管理を広報したほか、高齢化社会への対応として、地域の協力体制の強化を目的とした研修会を開催し、自治会、民生委員及び防火クラブなど民間防火組織と連携を進めました。</p>							
	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標	
安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	78.2	81.9	83.1	85.1	↗	
災害対策が充実し安心と思う市民割合	%	52.1	55.9	56.2	54.2	↗	
消防・救急活動に満足している市民割合	%	89.5	93.5	92.9	93.3	↗	
消防本部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「救急隊員養成事業」 応急手当指導員 (一般救急隊員+救急救命士)	人	81	90	92	93	↗	
「江別市消防10か年アクションプラン」 防火・保安研修会等参加者の市民割合	%	23.4	28.7	28.5	20.0	↗	

2. えべつ未来戦略(消防本部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

3. 消防本部の資源

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	280,230	248,021	246,911	414,134	243,955
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	280,230	248,021	246,911	414,134	243,955
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	129.00	130.00	130.00	128.00	130.20
	平均単価 (b)	7,764	7,670	7,618	7,627	7,687
	人件費 (a×b)	1,001,556	997,100	997,101	976,256	1,000,847
総 額		1,281,786	1,245,121	1,244,012	1,390,390	1,244,802